

# 地域公共交通のリ・デザインについて

---

中部運輸局 交通政策部 交通企画課

課長 勝山 祐樹

令和5年11月28日



国土交通省中部運輸局

- 地域公共交通は地域を持続可能とするための基盤的サービス
- 交通とまちづくりは密接に関係するため、施策同士の連携が必要
- 国交省として交通・まちづくりの両面から支援を強化

## 地域住民の移動手段の確保

運転のできない学生・生徒や  
高齢者、障害者、妊婦等の  
交通手段の確保

## コンパクトシティの実現

諸機能が集約した拠点どうし、  
あるいは拠点と居住エリアを結ぶ  
交通手段の提供

## まちのにぎわいの創出や健康増進

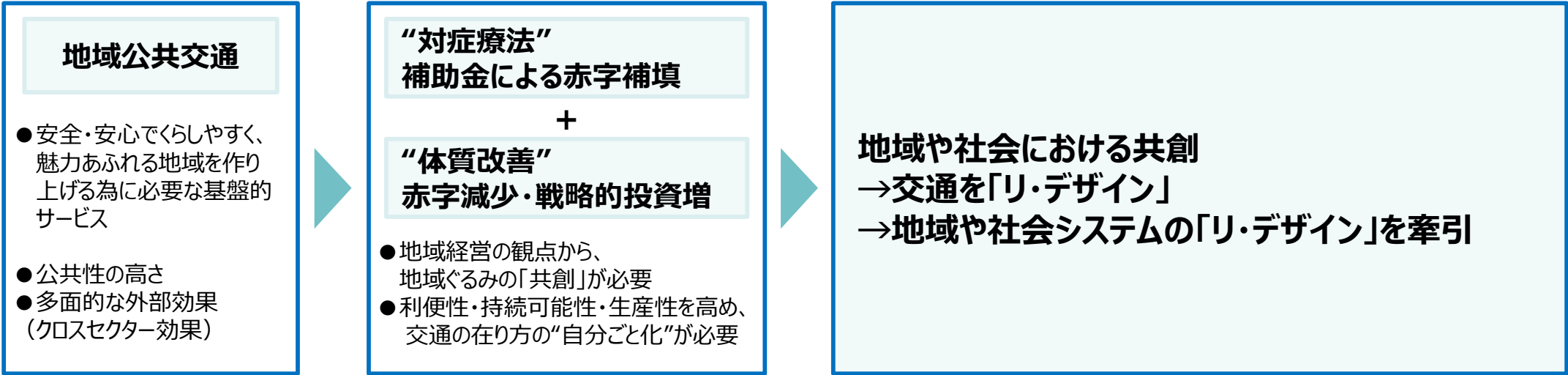
外出機会の増加によるまちのにぎわいの  
創出や、「歩いて暮らせるまちづくり」  
による健康増進

## 人の交流の活発化

観光旅客等の来訪者の  
移動の利便性や回遊性の向上により、  
人の交流を活発化

対応の方向性

<基本的考え方>



<各論>

① 交通政策のさらなる強化

- インフラ投資も含めた複数の支援制度の効果的運用
- 地域における合意形成のための国の関与の強化
- エリア一括協定運行の支援（鉄道・バス）

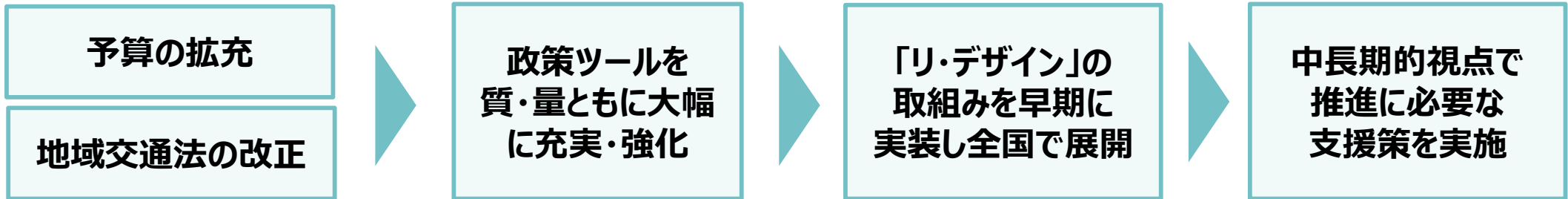
② 地域経営における連携強化

- 交通結節点周辺への生活関連施設の集積
- コーディネート人材やスタートアップ企業への支援
- 様々な関係者との共創による地域内経済循環

③ 新技術による高付加価値化

- DX・GXによる利便性向上・経営力強化
- 新技術と地域課題の適合による課題解決
- 新技術導入のための仕組みづくり

<政府の対応>



# 地域公共交通の「リ・デザイン」

## 地域公共交通の「リ・デザイン」とは

### ローカル鉄道の再構築

#### 鉄道の維持・高度化

- ・設備整備・不要設備撤去
- ・外部資源を活用した駅の活性化
- ・GX・DX対応車両等への転換
- ・事業構造の見直し



軌道の強化（高速化）

駅舎の新改築・移設

#### バス等への転換

- ・BRT・バスへの転換
- ・GX・DX対応車両等への転換



BRT・バス等への転換

### 3つの「共創」

#### 官民の共創

- ・エリア一括運行事業
- ・バスの上下分離 等

#### 交通事業者間の共創

- ・独禁法特例法を活用した共同経営
- ・モードの垣根を越えたサービス 等

#### 他分野を含めた共創

- ・地域経営における住宅・教育・農業・医療・介護・エネルギー等との事業連携



住宅×交通

教育×交通

農業×交通

医療×交通

介護×交通

エネルギー×交通

### 交通DX

#### 自動運転

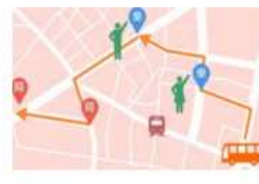


自動運転バス



遠隔監視室

#### MaaS・AIオンデマンド交通



### 交通GX

#### GX対応車両への転換



#### 交通のコスト削減・地域のCN化



蓄電池・充電施設



## 国も積極的に前に出て連携・協働を促進する仕組みを法律上位置付けました

### 地域の関係者の連携と協働の促進

- 法律の目的に、「**地域の関係者**」の「**連携と協働**」の推進を規定。
- 国の努力義務として、「**関係者相互間の連携と協働の促進**」を追加。
- **地域公共交通計画への記載**に努める事項として、地域の関係者相互間の連携に関する事項を追加。

### ローカル鉄道の再構築に関する仕組みの創設・拡充

- ローカル鉄道の再構築を図るため、大量輸送機関としての鉄道の特性が十分に発揮できていない区間について、地方公共団体又は鉄道事業者は、国土交通大臣に「**再構築協議会**」の組織を要請。
- 国土交通大臣は、関係地方公共団体から意見を聴取した上で、基準に合致すると認める場合には、再構築協議会を組織し、同協議会が**再構築方針を策定**。国は協議が調うよう積極的に関与。
- 国は、大臣認定を受けた「**鉄道事業再構築事業**」によるインフラ整備に取り組む自治体について、社会資本整備総合交付金等により支援。 <予算>

### バス・タクシー等地域交通の再構築に関する仕組みの拡充

- 地方公共団体と交通事業者が、一定の区域・期間について、交通サービス水準と費用負担に関する協定を締結し、交通サービスの提供を行う事業（「**エリア一括協定運行事業**」）を法律に位置づけ【「地域公共交通利便増進事業」の拡充】
- **交通分野におけるDX**や**GX**を推進する事業を法律に位置付け【「道路運送高度化事業の拡充」】

### 鉄道・タクシーにおける協議運賃制度の創設

- 地域に根差した輸送サービスの充実を図るため、地域の関係者間の協議が調ったときは、国土交通大臣による認可に代えて、**届出により運賃設定が可能**となる協議運賃制度を創設。

## 社会資本整備総合交付金等の新たな枠組みを含め総額約1300億円を計上しています

### 地域公共交通確保維持改善事業 (令和4年度補正:415億円 令和5年度予算:207億円)

#### ●地域公共交通確保維持改善事業

- ・持続可能な地域交通を確保するための継続的な運行支援
- ・公共交通におけるバリアフリー整備加速化
- ・地域公共交通計画などの策定支援

#### ●交通DX・GXによる経営改善支援事業

地域交通事業者によるGX・DX等による経営効率化の取組支援

- ・EVバス・タクシー、AIオンデマンド交通
- ・実証運行
- ・旅客運送事業者の人材確保

#### ●自動運転実証調査事業

- ・自動運転の社会実装に向けた実証事業



#### ●エリア一括協定運行事業

地方自治体が事業者と協定を締結して一定エリアの公共交通を一括して運行する場合の補助制度を創設



#### ●共創モデル実証プロジェクト

- ・他分野・官民・交通事業者間の共創による交通プロジェクト（葉の交通、共同経営、スタートアップ企業なども支援）
- ・地域交通・まちづくり人材の育成の支援



#### ●地域公共交通再構築調査事業 (ローカル鉄道再構築)

- ・ローカル鉄道の再構築協議会設置、調査・実証事業

### 地域鉄道の安全対策

(令和4年度補正:29億円 令和5年度予算:26億円)

・地域鉄道における安全性向上に資する設備整備支援

### 交通・観光連携型事業

(令和4年度補正:200億円)

交通事業者が、観光事業者と連携して、地域交通を活用した観光地の魅力向上・高付加価値化を図る取組

- ・ラッピング列車など観光イベントの開催
- ・新規ツアー商品造成



### 訪日外国人受入環境整備 (交通)

(令和4年度補正:163億円)

公共交通におけるインバウンド受入環境整備を図る取組

- ・多言語対応のデジタルサイネージ
- ・キャッシュレス決済設備導入等



### 地域公共交通再構築事業等 (社会資本整備総合交付金等)

(令和5年度予算:約5492億円の内数)

#### ●地域公共交通再構築事業

地域交通ネットワークの再構築に必要な鉄道施設・バス施設のインフラ整備を支援 ※効果促進事業で車両導入可能

#### ●都市・地域交通戦略推進事業

都市の骨格となる公共交通軸の再構築のため、LRT・BRT・鉄道の走行空間を整備

#### ※先進車両導入支援関連事業

(令和5年度予算:17億円)

交付金と併せてEVバス・自動運転バスなどの先進車両を導入 ※非公共予算

# 地域公共交通関係 補正予算(案)の概要

国土交通省所管  
令和5年度補正予算額：558.5億円  
(令和5年度当初予算額：251.1億円)

## 1. 地域公共交通のリ・デザインの加速化

### ● 共創・MaaSプロジェクト

・AIオンデマンド・MaaS等「デジタル」や多様な関係者（医療・介護、教育・スポーツ、農業・商業、環境等）の「共創」による交通プロジェクトを各地の足の現状3類型（A・B・C）に応じて支援  
・モビリティ「人材」（プロデューサー・コーディネーター、DX人材など）の育成支援

A 中小都市、交通空白地など

B 地方中心都市など

C 大都市など

### ● 自動運転実証調査事業

2027年度100か所以上の目標に向けて自動運転の社会実装に係る取組の支援



自動運転バスの運行

### ● ローカル鉄道の再構築支援

ローカル鉄道に係る公共交通再構築に向けた協議の場の設置、調査・実証事業を支援

## 4. 地域鉄道における安全性向上に資する設備整備支援

## 5. 訪日外国人旅行者受入環境の整備

公共交通機関におけるストレスフリーで快適に旅行できる環境を整備するため、多言語対応の強化、キャッシュレス決済の普及、バリアフリー化の推進等に関する個別の取組に対して支援

- ・車両等の大型化や観光車両等の購入・改良
- ・多言語対応のデジタルサイネージ、デジタルを活用した混雑状況の可視化 等

## 2. バス・タクシー等公共交通事業者の人手不足対策

### ● 旅客運送事業者の人材確保

- ・2種免許取得、採用活動等、人材確保のために行う取組を支援
- ・女性・パートタイム運転者拡大のための勤務形態柔軟化・設備投資促進等「タクシー不足に対応する緊急措置」の推進

### ● 交通DX・GXによる省人化・経営改善支援

地域交通事業者によるDX・GX等による利便性向上や人材確保に資する取組に対して支援

- ・キャッシュレス・配車アプリ導入の推進
- ・運行管理システム導入の推進
- ・EVバス・タクシー導入 等



EVバス



クレカタッチ決済

## 3. 既存の地域交通支援に対する追加的な支援等

- ・利便性・持続可能性向上に取り組む地域の交通事業者への運行支援
- ・公共交通におけるバリアフリー整備
- ・車両の更新等地域鉄道における安全対策の推進 等



連節バス



ICカード



観光列車

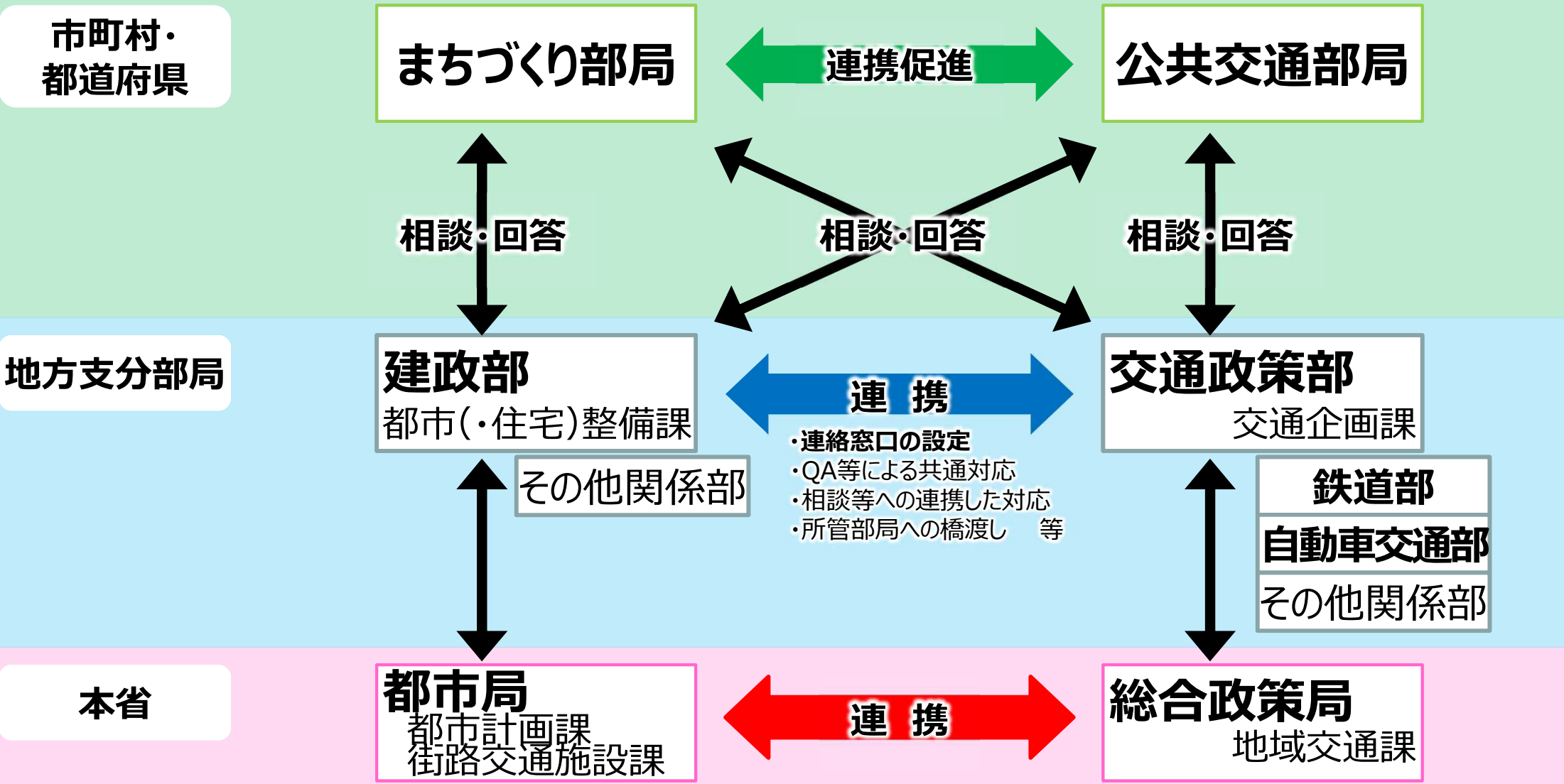
上記のほか、関係予算として公共予算のうち、道路整備費（自動運転の走行環境整備等）、都市・地域交通戦略推進事業（公共交通に係る支援等）がある。

➤ 整備局と連携した案件形成の強化

➤ 複雑化した制度に対応した研修、わかりやすいマニュアルの充実

➤ 第三者評価委員会を通じたPDCAサイクル支援





※上記に限らず、地方整備局、地方運輸局のどちらの窓口で受けてもワンストップで対応が可能なよう、日頃から密に情報共有を図ってまいりますので、まずは、地方整備局建政部、地方運輸局交通政策部・鉄道部・自動車交通部など、普段お付き合いのある部署にご相談ください！

鉄道局 鉄道事業課

自動車局 旅客課

# わかりやすいマニュアル作成と研修実施の取組

## ● わかりやすいマニュアルの作成について



「はじめての地域公共交通」

自治体において地域公共交通の業務を担当される方への入門書

【令和6年3月改定予定】



「地域公共交通会議等運営マニュアル」

地域公共交通会議の開催・運営に必要なとなる協議事項や資料作成のポイントをまとめた実務書

【令和6年3月改定予定】

## ● 現地勉強会の開催について

実施日	テーマ	講師
8月31日	乗りたくなる情報提供とは？	沼津市まちづくり政策課 遠藤重由氏 合同会社MoDip 諸星賢治氏
10月5日	デマンド交通の「合格ライン」	美濃市総合政策課 井尻和氏 名阪近鉄バス 山田規光久氏
11月9日	路線バスの魅力向上に行政ができること	日進市移動政策室 井筒達也氏 大阪大学大学院 招聘研究員 青木保親氏



第1回 現地視察の様子



第1回 講師資料



第1回 講師資料



第1回 グループディスカッションの様子

→ 更なる研修の充実、勉強会の継続開催を目指します！

## 地域で考え、行動するためのヒント集

令和4年度、地域においてローカル鉄道に関する議論を進めるに当たって、地域住民が主体的にローカル鉄道の今後のあり方を考え、行動するためのヒント集をとりまとめました。

このヒント集は、地域と鉄道事業者の協働にかかる事例を複数掲載し、そのうち「JR太市駅」については事例紹介を動画で掲載しておりますので、是非、ご活用下さい。



中部運輸局HP  
ヒント集PDF  
(全8ページ)

## JR姫新線・太市駅における地域活性化事例紹介動画

駅周辺のまちづくりにより、地域を活性化  
～ 地域住民、地元企業、行政、交通事業者  
の4者が一体となった駅整備 ～



YouTube  
中部運輸局  
チャンネル  
(約12分)



地域住民



地元企業



行政



交通事業者



地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱等に定められる事業評価に加え、中部運輸局独自に地域全体の公共交通に関する取組に対して評価、助言等を実施するとともに、令和3年度より、地域公共交通計画の評価結果も審議の対象として開催しています。(※令和2年度よりオンライン形式により実施)

① ネットワークの評価

「国庫補助」のみならず、地域公共交通計画の評価結果を審議の対象とし、地域全体の交通ネットワークについて評価を行い、地域全体の取組が真に地域公共交通の改善に資するか、議論しています。

② 評価プロセスの公開

評価委員会の公開や、運輸局ホームページ上の資料公開により、地域公共交通の現状の可視化を目指しています。

③ 多様な委員の参画

学識委員として、伊豆原 浩二氏（まちづくり達人ネットワーク理事長）、松本 幸正氏（名城大学教授）、石川 良文氏（南山大学教授）、倉内 文孝氏（岐阜大学教授）、加藤 博和氏（名古屋大学教授）、杉木 直氏（豊橋技術科学大学准教授）が参画し、各分野・立場からの意見・助言を行っています。

④ 広域的、モード横断的な視点での議論を実施

広域的バス路線と鉄道・コミバスとの役割分担や、危機的となっている広域的バス路線（幹線系統補助路線）への具体的な対応方針などについて議論しています。

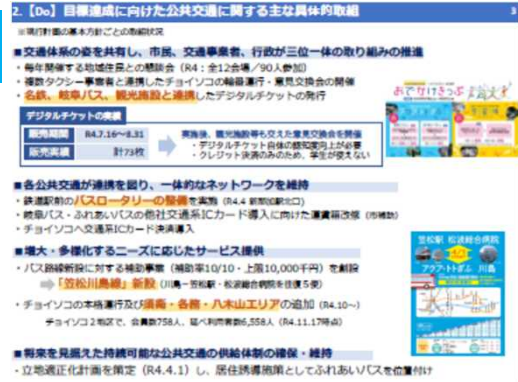
今年度は、令和6年2月14日(水)、15日(木)、16日(金)に実施

参考:地域公共交通に関する事業評価の手引き



中部運輸局HP 手引きPDF (全28ページ)

事業評価のポイントの解説や評価指標の具体例などをまとめた手引書です。よりよい地域公共交通を目指して、定期的に評価をしましょう。



↑ 第三者評価委員会の様子 ← 運輸局ホームページ上で公開される資料





運輸局と整備局で**連携**して  
地域の支援をしていきます！

# 「公共交通ってイイネ！」中高生フォトコンテスト

中部運輸局は、愛知県・静岡県・岐阜県・三重県・福井県在住の中学生・高校生を対象としたフォトコンテスト「公共交通ってイイネ！」を開催します。

中学生・高校生が、公共交通の良いところを考えながら公共交通を利用して、「公共交通ってイイネ！」と思う写真を応募できるように、周知等ご協力をお願いします。

1. 応募資格：愛知・静岡・岐阜・三重・福井県在住の中学生・高校生
2. 応募期間：令和5年11月15日(水)～令和6年1月29日(月)必着
3. 結果発表：令和6年3月中旬を予定
4. 募集写真内容
  - ・愛知県・静岡県・岐阜県・三重県・福井県の公共交通（鉄道、路面電車、乗合バス、タクシー、旅客船）や駅・バス停などの施設を含む写真
  - ・「公共交通っていいな」「大事なな」「乗りたいな」を共感できる写真
  - ・カメラ部門、スマホ部門の2部門(一人各2点まで応募可)
5. 審査委員長 写真家 富永 聡 氏



## カメラ部門



- 【応募方法】 写真用紙にプリントアウトして郵送
- 【賞】 大賞 / 優秀賞 / 鉄道賞 / バス賞 / タクシー賞 / 旅客船賞の計6点  
\* 入賞者には、賞状と記念品を贈呈
- 【作品の活用】
- ・入賞作品をポスター化
  - ・3月下旬に表彰式を実施
  - ・中部運輸局ホームページやX(旧Twitter)に掲載



## スマホ部門

- 【応募方法】 電子メールで画像データを送信
- 【賞】 大賞 / 優秀賞 / 鉄道賞 / バス賞 / タクシー賞 / 旅客船賞の計6点  
\* 入賞者には、賞状と記念品を贈呈
- 【作品の活用】
- 中部運輸局ホームページやX(旧Twitter)に掲載